

<東北総合男子選手権大会>

大会運営に関する申し合わせ事項

本大会は、2026年度(公財)日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールルールにより実施するが、その運営にあたっては下記の事項を本大会の申し合わせとする。

- 1 大会出場メンバーは、参加申込書のとおりとし、監督会議において確認されたメンバーとする。選手の追加、変更は認められない。
- 2 指導者資格証と記録員資格証の本人確認は、チームがベンチ入りの際に行う。
※ 毎試合行う。点検者は競技役員(審判員、記録員、運営委員)とする。
- 3 ベンチは、組合せ番号の若いチームを一塁側とする。
- 4 引き分け試合か無効試合(ノーゲーム)の場合のみ一時停止試合(サスペンデッドゲーム)を採用する。なお、担当審判員が変わることもある。
- 5 3回15点、4回10点、5回以降7点以上の得点差がある場合は、コールドゲームとする。
- 6 試合に出場する選手全員を打順表に記入すること。ふりがなを付けること。
- 7 試合に出場する選手は試合前・後に必ず整列し、あいさつすること。
- 8 練習は試合及び大会運営に支障のない範囲で行うこと。ベンチ入り後の練習は、フェール地域および外野部分において行うことができるが、投球練習及びキャッチボールとする。
- 9 ベンチ内でのスマートフォン・携帯電話の使用を禁止する。
- 10 試合中の競技場での投球練習等は、危険防止のため一組とする。
- 11 バットはバットゲージで確認し規格以外のもの及び危険と思われるものは、大会本部で預かる。(試合終了後に受け取ること。)審判員の用具検査中に投手として出場の可能性のある選手は、使用グラブの確認をしてもらうこと。
- 12 荒天により試合が大会日程中に終了できない場合は、主催者が協議のうえ代表を決定する。
- 13 攻守の交代は迅速に行うこと。目に余る場合、ペナルティーを科すことがある。
- 14 試合が連続する場合は、前試合終了30分後を目途にベンチ入りする。
- 15 ベンチやダッグアウト内に自前の椅子の持ち込みを禁止する。(東北申し合わせ事項)
- 16 試合中の抗議におけるサングラスの着用を禁止する。(東北申し合わせ事項)
- 17 会場内は禁煙とする。
- 18 競技運営の細部については、(公財)日本ソフトボール協会が制定する「競技運営に関する注意事項」を適用する。